

KORG

KONTROL EDITOR 取扱説明書

NTS-1 digital kit mkII

はじめに	2
KORG KONTROL EDITOR とは?	2
使用上のご注意	2
動作環境	2
インストール	3
クイック・スタート	3
KORG KONTROL EDITOR を起動し NTS-1 digital mkII を選択する	3
基本操作方法	4
PROGRAM タブ	4
ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトリスト	5
GLOBAL タブ	6
環境設定	7
メニュー	8
ファイルメニュー	8
編集メニュー	8
転送メニュー	9
ヘルプメニュー	9
トラブル・シューティング	10
起動できない	10
転送に失敗する	10
グローバル・データがファイルに保存されない	10

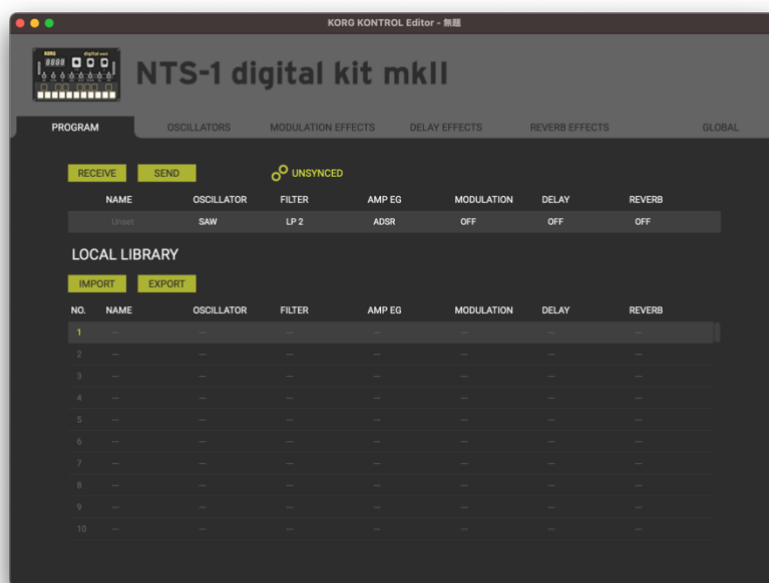
- すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
- 製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

はじめに

このたびは、NTS-1 digital kit mkII をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

KORG KONTROL EDITOR とは？

KORG KONTROL EDITOR は、NTS-1 digital kit mkII で使うプログラムやユーザー・オシレーターやユーザー・エフェクト、グローバル設定を管理することができます。



使用上のご注意

- ⚠ KORG KONTROL EDITOR の起動中は、NTS-1 digital kit mkII の接続を解除したり、電源をオフにしたりしないでください。
- ⚠ データの転送中は、NTS-1 digital kit mkII および KORG KONTROL EDITOR を操作しないでください。

動作環境

NTS-1 digital Librarian mkII を使用するには、動作環境を満たすコンピューターと USB ケーブルが必要になります。
動作環境については KORG KONTROL EDITOR 取扱説明書をご確認ください。

インストール

インストール方法については KORG KONTROL EDITOR 取扱説明書をご覧ください。

クイック・スタート

KORG KONTROL EDITOR を起動し NTS-1 digital kit mkII を選択する

Windows で KORG KONTROL EDITOR を使用するときは、コルグ・ウェブサイトより KORG USB-MIDI Driver をダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(korg.com/)

1. USB ケーブルでコンピューターと NTS-1 digital kit mkII を接続します。
2. KORG KONTROL EDITOR を起動します。

Mac	「KORG KONTROL EDITOR」フォルダーは、「アプリケーション」フォルダーの中にあります。
Windows	「KORG KONTROL EDITOR」フォルダーは、タスクバーの「スタート」-「すべてのアプリ」-「KORG」の中にあります。
3. 接続されているデバイスの一覧が表示されるので、NTS-1 digital kit mkII を選択します。自動的にプログラム、ユーザー・オシレーター、ユーザー・エフェクトのデータが読み込まれます。

基本操作方法

ここでは KORG KONTROL EDITOR(NTS-1 digital kit mkII)の各画面の機能を説明します。

PROGRAM タブ

KORG KONTROL EDITOR を起動して NTS-1 digital kit mkII を選択すると表示される画面です。



PROGRAM を本体から読み込む

RECEIVE ボタンを押して NTS-1 digital kit mkII 本体のプログラムを読み込みます。
読み込むと本体との状態が「SYNCD」に表示が変わり、本体と同期された状態になります。
また本体と現在のプログラムのデータが一致しない場合、「UNSYNCD」に表示が変わります。RECEIVE ボタンを押すと本体のプログラムを読み込み、表示が「SYNCD」になります。

PROGRAM を管理する

現在のプログラムを LOCAL LIBRARY のプログラム・リストへドラッグ・アンド・ドロップをするとローカル・ライブラリに追加されます。EXPORT ボタンを押すとプログラムをエクスポートできます。
また IMPORT ボタンでエクスポートしたプログラムをインポートすることができます。

Tip LOCAL LIBRARY のプログラムは名前を編集することができます。

Tip エクスポートしたプログラムにユーザー・ユニットが含まれている場合、対応するユーザー・ユニットが本体に入っている必要があります。

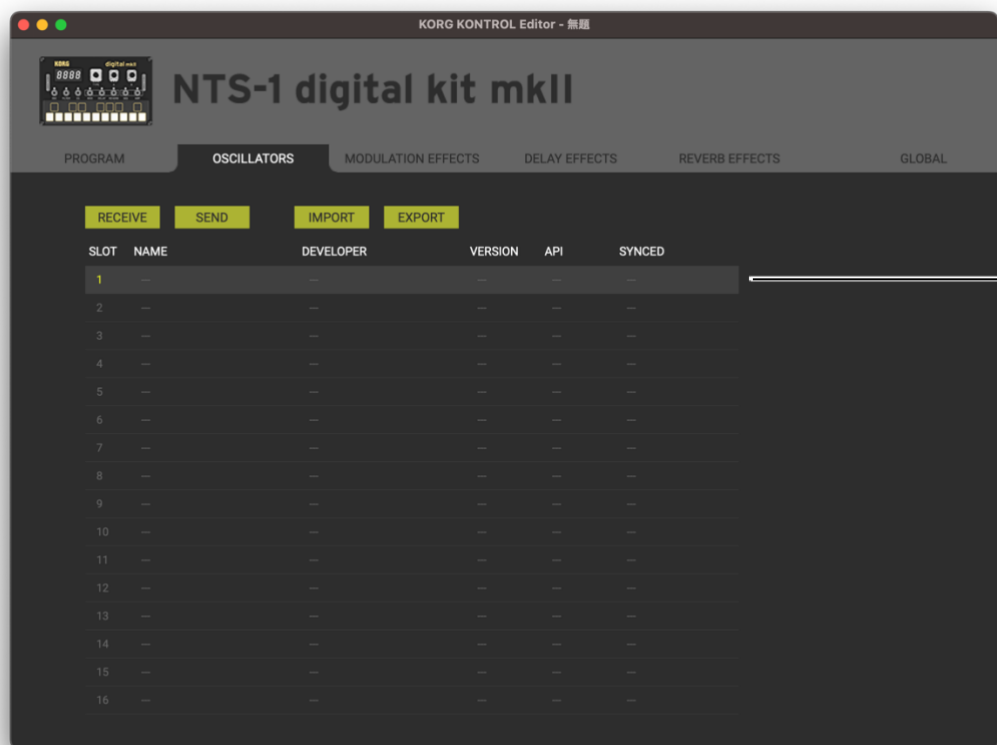
PROGRAM を本体へ書き込む

LOCAL LIBRARY のプログラムを現在のプログラムへドラッグ・アンド・ドロップ(もしくはプログラムをダブル・クリック)すると、NTS-1 digital kit mkII 本体へプログラムを書き込まれます。

Tip “転送”→“ユーザー・データを書き込み”で 本体にプログラム、ユーザー・オシレーターとすべてのユーザー・エフェクトが転送されます。

ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトリスト

タブには 4 つのユーザーエリアがあり、1 つはユーザー・オシレーター、残りは各タイプのユーザー・エフェクトです。この画面では logue SDK (詳細につきましては korg.com/products/synthesizers/nts_1_mk2/ を御覧ください) を使って作られたユーザー・オシレーターやユーザー・エフェクトを並び替えたり、NTS-1 digital kit mkII 本体に転送することができます。ユーザー・オシレーターまたはユーザー・エフェクトのことをユーザー・ユニットと呼びます。



ユーザー・
ユニット・
リスト

ユーザー・ユニットをインポートする

ロードしたいタイプ (USER OSCILLATORS, MODULATION FX, USER DELAY FX, USER REVERB FX) のタブを選択し、置きたい場所を選択してインポート・ボタンを押してユーザー・ユニット・ファイル (.nts1mkiunit) を選択します。

“ファイル” → “ユーザー・ユニットをインポート...” で追加することもできます。

ユーザー・ユニット・ファイルをエクスポートする

エクスポートしたいユーザー・ユニットを選択してエクスポート・ボタンを押します。

本体のユーザー・ユニットを保存するには本体からユーザー・ユニット・データを受信している必要があります。

“ファイル” → “ユーザー・ユニットをエクスポート...” でエクスポートすることもできます。

⚠ ユーザー・ユニットをエクスポートする場合、共有やコピーに関して、その開発者のライセンス、条項及び条件を確認してください。

ユーザー・ユニットを削除する

“編集” → “クリア” で選択されているユーザー・ユニットを削除できます。

ユーザー・ユニットを並び替える

ユーザー・ユニットをドラッグ & ドロップすると並びを変更できます。

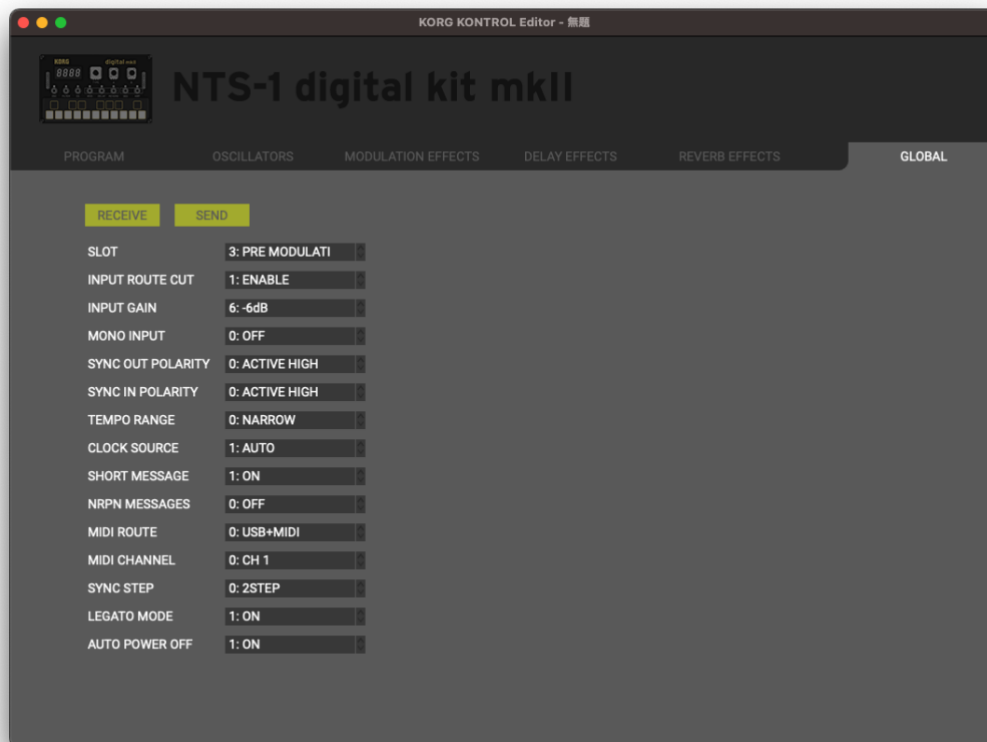
Tip 複数の項目を選択し、一度に並び替えることも可能です。

ユーザー・ユニットを NTS-1 digital kit mkII に転送する

RECEIVE/SEND ボタンでユーザー・ユニットのデータを NTS-1 digital kit mkII 本体に送受信します。ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトが転送されます。データの転送が完了すると、本体のユーザー・ユニット・リストが更新されます。

GLOBAL タブ

GLOBAL タブでは、NTS-1 digital kit mkII のグローバル設定を編集できます。



グローバル・データを NTS-1 digital kit mkII に転送する

RECEIVE/SEND ボタンでグローバル設定のデータを NTS-1 digital kit mkII 本体に送受信します。

データの転送が完了すると、本体のグローバルの設定が更新されます。

環境設定

「設定」メニューから「環境設定...」を選択すると、環境設定ダイアログが表示されます。



MIDI ポート

MIDI ポートを手動で設定する

デバイス自動検出機能を使用せずに、手動で MIDI ポートを設定するときにオンにします。この設定をオンにしたときは、MIDI IN/OUT ポートにそれぞれ NTS-1 digital kit mkII が接続されているポートを設定します。

MIDI IN

NTS-1 digital kit mkII を接続する MIDI IN ポートを指定します。

Tip 通常、NTS-1 digital kit mkII の「KBD/KNOB」ポートを指定します。

MIDI OUT

NTS-1 digital kit mkII が接続されている MIDI OUT ポートを指定します。

Tip 通常、NTS-1 digital kit mkII の「SOUND」ポートを指定します。

その他

自動的にデータを読み込む

オンに設定すると、NTS-1 digital kit mkII から自動的にデータを読み込みます。

オフに設定すると、自動的に読み込まなくなります。

データを書き込みのときに警告

オンに設定すると、NTS-1 digital kit mkII へデータを書き込む前に警告ダイアログを表示します。

オフに設定すると、警告ダイアログを表示せずに書き込みます。

メニュー

ファイルメニュー

デバイスを選択

デバイス選択画面を開きます。

新規作成

空の NTS-1 digital kit mkII のワークスペースを作成します。

開く

NTS-1 digital kit mkII ワークスペース・ファイル(*.nts1mkii ファイル)を読み込みます。

保存

現在の NTS-1 digital kit mkII ワークスペースを上書き保存します。

名前をつけて保存

現在の NTS-1 digital kit mkII ワークスペースを指定した名前で新しいファイルとして保存します。

プログラムを読み込み... (Program タブのみ)

プログラム・ファイル(*.nts1mkiiprog)を読み込みします。

プログラムを保存... (Program タブのみ)

選択中の LOCAL LIBRARY のプログラムをプログラム・ファイル(*.nts1mkiiprog)として保存します。

ユーザー・ユニットを読み込み...

ユーザー・ユニット・ファイル(*.nts1mkiiunit)を読み込みます。

ユーザー・ユニットの対応するタイプのタブを開いているときは、現在選択している行にロードされます。そうではないときは対応するタイプのタブが選択されて、最初に空いている行にロードされます。

ユーザー・ユニットを保存... (ユーザー・ユニットタブのみ)

開いているタブの選択中のユーザー・ユニットをユーザー・ユニット・ファイル(*.nts1mkiiunit)としてエクスポートします。

本体のユーザー・ユニットを保存するには本体からユーザー・ユニット・データを受信する必要があります。

- ⚠ ユーザー・ユニットを含むデータを保存する場合、共有やコピーに関して、その開発者のライセンス、条項及び条件を確認してください。

編集メニュー

元に戻す

ひとつ前の操作を取り消します。

やり直す

「元に戻す」を実行する前の状態に戻します。

クリア

選択したユーザーユニットをクリアします。

環境設定

環境設定ダイアログを表示します。

転送メニュー

すべてのデータを受信

NTS-1 digital kit mkII からすべてのユーザー・オシレーター、ユーザー・エフェクト、グローバル設定を受信します。

すべてのデータを送信

現在編集のすべてのプログラム、ユーザー・オシレーター、ユーザー・エフェクト、グローバル設定を NTS-1 digital kit mkII に送信します。

現在のプログラムを受信 (Program タブのみ)

NTS-1 digital kit mkII からプログラムを受信します。

現在のプログラムを送信 (Program タブのみ)

現在のプログラムを NTS-1 digital kit mkII に書き込みます。

すべてのユーザー・ユニットを受信 (ユーザー・ユニットタブのみ)

NTS-1 digital kit mkII から選択中のユーザー・ユニット・タブのすべてのユーザー・ユニットを受信します。

すべてのユーザー・ユニットを送信 (ユーザー・ユニットタブのみ)

選択中のユーザー・ユニット・タブのすべてのユーザー・ユニットを NTS-1 digital kit mkII に書き込みます。

グローバル・データを受信 (GLOBAL タブのみ)

NTS-1 digital kit mkII からグローバル・データを受信します。

グローバル・データを送信 (GLOBAL タブのみ)

グローバル・データを NTS-1 digital kit mkII に書き込みます。

ヘルプメニュー

バージョン情報

KORG KONTROL EDITOR のバージョン情報を表示します。

トラブル・シューティング

起動できない

- お使いのコンピューターが、動作環境を満たしているか確認してください。
- 他のアプリケーションが起動していると、起動に失敗したり転送に失敗することがあります。失敗した場合は、他のアプリケーションをすべて終了させて、再度動作を確認してください。
- 他の USB 機器が接続されていると、起動に失敗したり転送に失敗することがあります。失敗した場合は他の USB 機器を PC から取り外して、再度動作を確認してください。

転送に失敗する

- 接続したコンピューターに NTS-1 digital kit mkII が認識されていることを確認してください。
Windows の場合は、コントロールパネルの「ハードウェアとサウンド」→「デバイスマネージャー」の「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」で確認してください。
Mac の場合は、「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Audio.MIDI 設定」を起動し、「ウィンドウ」メニューから「MIDIスタジオを表示」を選択して開く「MIDIスタジオ」ウィンドウ確認してください。
- Windows で USB 接続している場合は、最新の KORG USB-MIDI Driver がインストールされていることを確認してください。
最新の KORG.USB-MIDI.Driver は、コルグ・ウェブサイトからダウンロードできます。[\(korg.com/\)](http://korg.com/)
- 手動で MIDI ポートを設定しているときは、MIDI ポートの設定が間違っていないか確認してください。
- NTS-1 digital kit mkII の接続に USB ハブを使用している場合は、USB ハブを使用せず NTS-1 digital kit mkII をコンピューターに直接接続して、動作を確認してください。

グローバル・データがファイルに保存されない

- メニューから「保存」または「名前をつけて保存...」を使用してワークスペース全体を保存するとグローバル・データが含まれます。